



2025 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

100 億宣言申請のお知らせ

当社は、売上高 100 億円を目指す企業として、中小企業庁監督の下、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「中小機構」という。）が運営するポータルサイトへの当社 100 億宣言の掲載を申請したことをお知らせいたします。

記

1. 背景

「100 億宣言」とは、中小機構の企画の下、中小企業が飛躍的成長を遂げるために、自ら、「売上高 100 億円」という経営者の皆様にとって野心的な目標を目指し、実現に向けた取組を行っていくことを、宣言するものです。宣言した企業は、中小機構の事務局が運営するポータルサイト「100 億企業成長ポートポータル」に、当該宣言を掲載することが可能です。

当社は、2022 年 12 月 1 日に公表しました 2023 年度～2025 年度の中期経営計画の期間中に、技術再進化等で成長の種を蒔き、2026 年度～2028 年度の次期中期経営計画で、その蒔いた種を刈取り再成長させることを経営方針としております。

そのような中、当社は、高い志を弊社全体で強く共有し、また、当社ステークホルダーの皆様にも宣言させて頂くことで、持続可能な社会の実現と千葉・柏から世界に誇れる企業づくりに向けた具体的な取組を更に促進するため、中小機構が運営する「100 億企業成長ポートポータル」へ、当社の「100 億宣言」の掲載を申請いたしました^(※1)。

(※1) 中小機構が運営する「100 億企業成長ポートポータル」へ、当社の「100 億宣言」の掲載を申請したことをお知らせするものであり、当社中期経営計画を変更するものではありません。

2. 内容

当社は、プロジェクター用反射鏡・レンズ等の世界シェア No.1 の 3 製品を中心に、ガラスレンズや「江戸っ子 1 号」用ガラス球など様々な製品を展開してまいりました。今後、生成 AI や車載等の半導体熱量 UP に伴う放熱問題を解決するセラミックス放熱基板や生成 AI のデータセンターに必須であるガラス偏光子などの成長分野向け製品により、100 億円企業への成長を実現してまいります。

※詳細は次紙を御参照下さい。

3. 狙い

- (1) 中小機構からのメッセージでは、「宣言・公表」のメリットとして、①「宣言」取得による補助金等の活用、②経営者ネットワークへの参加、③「宣言」マーク活用による自社 PR などが挙げられております。
- (2) 高い志を弊社全体で強く共有することと、当社ステークホルダーの皆様にも宣言させて頂くことで、有言実行を実現してまいりたいと考えております。

以上



主力製品 各種ガラス製品

- 本社所在地：千葉県柏市十番二380番地
- 事業概要：光デバイス用ニューガラスと多層膜蒸着製品等の製造
- 常時使用する従業員：173名
(2025年4月時点)
- 現在の売上高：44億円
(2025年3月期)
- 法人番号：2040001065334
- Web：https://ogc-jp.com/

岡本硝子株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役会長兼CEO
岡本 毅

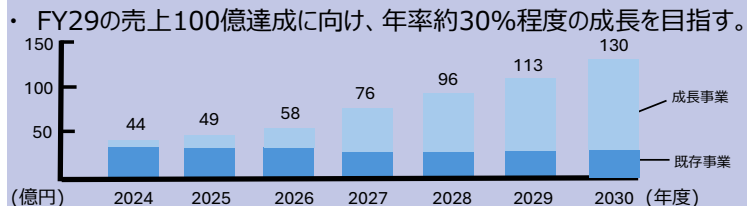
ガラスのあらゆる可能性を追求し、人々の豊かな暮らしに貢献します

当社は、“生業(なりわい)”としてのガラスに拘り、世界シェアNo.1の3製品(プロジェクター用反射鏡;92.7%、同フライアイレンズ;65.9%、歯科医用デンタルミラー;約7割)を中心に、ガラスレンズ(車載・医療・エレクトロニクス)や「江戸っ子1号」用耐圧ガラス球に代表される海洋開発・環境アセス向けガラス球など多種多様な製品を展開しています。

今後は、生成AIデータセンターやHV,PHV,EV等のxEV向けパワーモジュール等の半導体熱量UPに伴う放熱問題を解決する次世代半導体用放熱基板や生成AIのデータセンターの超高速光通信に必須であるガラス製偏光素子などの成長分野向け製品を通じ、脱炭素社会、高度情報化社会、地球環境保全といった多様な社会課題の解決に貢献するとともに、社員の挑戦機会拡大と処遇改善を実現します。また、100億円企業への成長を通じ、持続可能な社会の実現と千葉・柏から世界に誇れる企業づくりを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標



課題

- ・7つの成長事業に着目し、そうした新製品の量産に向けた技術開発及び量産設備投資を行う(7つの内2つは完了済)。中でも、①次世代半導体用放熱基板 ②ガラス製偏光素子 ③新導光体デバイスに経営資源を集中
- ・さらには、ガラス製造ノウハウのAIによる置換えと蓄積を含めたDX化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・成長事業の内、新製品に関しては、協力会社等と協業による技術開発の推進により、顧客ニーズに応じた高機能化・カスタム対応力を強化
- ・設備投資による量産設備導入と生産体制の構築
- ・重点市場での展示会出展等、海外子会社・協力会社を活用した顧客先の開拓

実施体制

- ・重点プロジェクト及び成長事業は、全て経営トップ直結で実行されており、管理・経営判断を迅速化
- ・技術開発と製造は、1つの本部として全社を管理・運営し、また、将来のあるべき姿を追求
- ・海外子会社のネットワークや営業活動の強化
- ・ECサイトを活用したマーケティング体制及び販売拡大

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです